

2021年度 日台産業協力架け橋プロジェクト 実施結果

公益財団法人日本台湾交流協会
貿易経済部

2021年度実績・成果(まとめ)

- 日台産業交流架け橋プロジェクト助成事業については、令和3（2021）年度は3団体が事業を実施した。
- 台湾における国際展示会出展事業・セミナーは台北国際工業自動化展（Automation Taipei）へ出展した。新型コロナの影響によりリアル会場に10社がリモートで参加して商談を行い、セミナーでは講演動画、企業紹介動画を放映する形で実施を行った。

○日台産業交流架け橋プロジェクト助成事業

時期	事業実施団体 【分野】（事業形態）	開催地
2021年10月	九州オープンイノベーションセンター 【環境ビジネス環境関連製品及び技術】 （セミナー／商談会）	オンライン
2021年11月 2022年2月	つばめいと 【医療機器、金属加工製品（酒器・食器を含む）】 （商談会）	オンライン
2021年10月 2022年2月	熊本県工業連合会 【機械・部品産業】 （セミナー／商談会）	オンライン・ ハイブリッド

○台湾における国際展示会出展等事業・セミナー事業

台北国際工業自動化展（Automation Taipei）へ出展。リアル会場に10社がリモート参加で商談を行い、セミナーでは講演動画、企業紹介動画を放映した。

2021年12月	Automation Taipei出展（商談会／セミナー） DX・脱炭素のキーワードで展開される日本及び世界の製造業のスマート化の推進現状と日台ビジネスチャンス	台北 オンライン
----------	---	-------------

2021年度実績・成果（個別事例）

ポイント：

- 福岡県の企業が開発した廃棄物処理に特化したサービスと台湾のエンジニア技術とのビジネスマッチングによる成功事例。
- 日本側中小企業の技術力・品質力と台湾側企業のマーケティング力の協業による新たなビジネス展開。

日本のグリーン産業と、台湾のエンジニアが協力し新規市場開拓を開始

株式会社グリーナー（本社：福岡県）



- 参加年度：令和3（2021）年度
- 参加事業：九州オープンイノベーションセンターのウェブ商談会に参加
- 業務内容：廃棄物減量、リサイクル及びそれらのコンサルティング
- 台湾での新ビジネス開始までの経緯：
 - ・（一財）九州オープンイノベーションセンター及びT J P Oの共催の「九州台湾循環経済・グリーンエネルギービジネスオンライン商談会」に参加。商談相手の（株）アルプス技研の台湾現地法人（臺灣阿爾卑斯技研（股））との廃棄物見える化システムの台湾における普及推進のMOU締結（令和2（2020）年度）を経て、令和3（2021）年度、総代理店契約の締結に至る。
 - ・廃棄物見える化システムとは、（株）グリーナーが開発・提供している、廃棄物の回収・処理の流れ、廃棄物の量、リサイクル率等、廃棄物の全てを「見える化」するインターネット上のアプリケーションサービス。このシステムの活用により、廃棄物排出企業が自社で廃棄物の削減、リサイクル率の向上、CO₂の削減などのエミッション・コントロールに取り組むことが出来る。
 - ・台湾における廃棄物規制法（廃棄物清除法）は日本の「廃掃法」に類似しており、厳しい排出者責任をかしているため、排出事業者の環境コンプライアンス遵守を担保するシステムの需要は台湾においても高まっているのが現状。
 - ・台湾阿爾卑斯技研（股）は人材事業（半導体製造工場へのエンジニア派遣）や工程事業（製造設備据付等）を主に行っており、台湾で約20年の稼働実績がある。廃棄物分野は未経験だが、現地日系企業とのネットワークや、現地事業、ローカルエンジニアとのつながりを持っており、今後（株）グリーナーのシステムの台湾における代理店という形でビジネス展開していく。
 - ・本例は、日本のグリーンビジネス産業が、台湾のエンジニアとの協力により新たな市場開拓を開始した好事例。
- 今後の展開予定：当該「見える化システム」の台湾版の試験運用をベースにして製品版をリリース予定。